

News & Information

2008/8/20

〔中国でのPC-SOD治験用製剤の製造開始〕

昨年の8月頃にご報告いたしました「PC-SODライセンス契約に関するお知らせ」について、その後の進捗をお知らせいたします。

平成20年8月より、当社製剤開発部長を中心として北京泰徳製薬でPC-SODの治験用製剤の製造を開始いたしましたので、ご報告申し上げます。

LTTバイオフーマが開発しましたPC-SODは潰瘍性大腸炎と特発性間質性肺炎に有効性があり、ヒト型で、今まで難しいとされていた活性が持続するという特徴をもち、従来のSODと比較して約100倍有効性が高いということが実証された製剤です。

北京泰徳製薬はこのPC-SODについて当社と既にライセンス契約を締結し、中国国内での新薬開発に向けた準備を進めております。その一環として北京泰徳製薬は製剤の自社製造を決定し、技術者2名を2ヶ月間の研修のため日本に派遣するとともに中国及び日本において検討会を重ねるなど準備を進めてまいりました。この度、製剤の製造開始にあたり、当社製剤開発部長も現地に赴き直接技術指導を行い、無事に製剤の製造が開始されました。

【北京泰徳製薬について】

北京泰徳製薬は当社の持分法適用会社であり、これまでリポPGE1（商品名：凱吋 カイシ）の売上を中心に急速に成長し、微量でも効用のある注射薬の製造・開発で優れた能力を持った会社です。